



▼ サルでも分かる外帆レーティング

キナンゴ 増田

レーティングというとなかなか包まれた神秘的な感じを受けるかもしれませんが、実は割りと簡単なものです。花びしカップを例に来年のレーティングがどのようにして決められるのか見てみましょう。今回はIRCレーティングを取得していて、とつてもがんばったSOUTHWINDをターゲットボートとします。

	外帆rating	所要時間(秒)	修正時間(秒)
SOUTHWIND	1.0101(A)	12045(B)	12167(C)
某Y-34S艇	0.8680(R)	17200(D)	14930(E)

という結果でした。

修正時間(C)はAxBを計算しているだけです。SOUTH艇と同じ修正時間となるように某艇のRの値を変えてやります。式は

(A) x (B) ÷ (D) =R新 で、R新=0.7074となります。試しにR新 x (D)はSOUTHと同じ修正時間になります。

これだけではだんだんレーティングがIRCの数値とかけ離れていってしまいます。

SOUTHは幸い IRCレーティング 1.061(F) という値がありますので、これに近似させます。

R新 x (1.061(F) ÷ 1.0101(A)) の計算を行います。最終的には0.7430という値になります。また、SOUTH艇は1.061となります。

今回は花びしカップの値を用いましたが、トヨペットカップやオープニングレガッタなども各艇の修正したレーティングを算出し、平均して明年度のレーティングが決まります。今年新規艇や乗員の変更などで苦労しましたが、公認レーティングではないにしろ、クラブレーティングとして十分楽しめるレーティングになってきたかなと考えています。ご意見ありましたらお寄せください。

アンカーライト

第24話 港放浪記「椴法華港」

過去に2・3度入港した。函館から室蘭へは75マイルほどあるが海峡の潮に乗っていけるので一気に(といっても12時間)行ってしまうが、帰りは逆潮のためシングルではちょっと辛いので途中で立ち寄るのにちょうど良い港である。

昨年痛めたハルの修理で今年7月に室蘭へ回航し、9月の帰りに久しぶりに立ち寄った。

港の入り口北側に常時定置網があり、270度でアプローチするも注意が必要です。入港すると恵山から続く裾野がすぐ目の前に迫り風があたらず国道もどんぶりまりで車も少なく静かな港なのだがその分店も何もない。唯一あった蕎麦屋も今はない。高台を恵山灯台のほうへ1.5Km歩くと「恵山高原ホテル恵風」があり入浴や食事ができる。その先には名湯「水無し温泉」があり秘湯マニアにはたまらない。

港の一番奥のコンブ荷揚げ用クレーンがあり春のシーズン以外はこのあたりが空いている。トイレもすぐそばだ。船を着けてしばらくすると地元のスケソ漁をしているというトツアンが現れしばらく歓談。やがて連れのおさんに即されて名残惜しそうに戻っていった。そのうち防波堤外側でテトラ施設作業のクレーン船関係者のニイチャンが来て大阪弁であれこれ質問される。ヨットに興味があるようだ。このクレーン船は作業が終わるとそそくさと函館方面に向けて帰って行った。

やがて日が落ち夏の終わりの何にもない椴法華の港に八代亜紀様の「舟唄」が静か〜に流れていった。

翌日漁に出る漁船に3時半ころから揺すられ5時に起床、朝7時に出航。昨日から外海は折からの台風の影響か、うねりが大きく入港の際にも大変だったが、今日はそれにも増して出た途端すごいうねりと波に翻弄された。そう、ここはサーフィンで有名な遠浅だったのだ。堤防で釣りをしていた人は小さなヨットが波にもみくちゃにされながら進んでいくのを見てさぞ面白かったらうなあ。

やがて恵山岬を超えるころ少しうねりも収まり、汐首沖で恵山方向へ向かう昨日の作業船とおぼしきクレーン船と出会い、立待岬沖では折りしも「花びしカップレース」の一団と出会い、そして下風呂温泉クルーズへ向かう「勸進丸」と洋上ミーティングして2か月半振りにポンツーンに戻った。これが今年のクルージングとなってしまった。

皆様、良いお年を、そして来年も良きクルーズを！

〜編集者後記〜

2014年も残すところあとひと月、この号が発行される頃には大儀無き選挙戦のまっただ中であろう。

この暮れの選挙もなかなかのものだが、外帆のメンバーは“とてつもなくすごい”会員の平均年齢はおそらく50代半ばくらいであろうにも係わらず春先のオープンレガッタ14艇、函館湾オープンヨットレース11艇、ペリー回航160周年記念レース17艇、トヨペットカップ15艇、花びしカップ18艇・・・と外帆主催レースにおいて今年1年参加艇10艇を下回ることはありませんでした。そして納会レースに出艇した艇はなんと！12艇、近年では最高の出艇数ではないだろうか？

これはきっと佐井レースの鬱憤が溜まり反動が出たのだろう・・・。(はたまたくまきちの肴目当てか?)

その後もオマケのレースを行おうとするもこれはさすがにNG。今年も年間行事を滞りなく消化し、残すはクラブハウスの大掃除・・・&忘・年・会。

来年にはポンツーンの掛け替えの予定もあり、会員皆様にご協力頂くことにもなるでしょう。

またレースに、クルージングに、宴会に、外帆の更なる発展に会員一丸となって函館ヨット界を盛り上げていきましょう。では、2015年も良き一年でありますように一本締

いよ〜〜〜シャン